

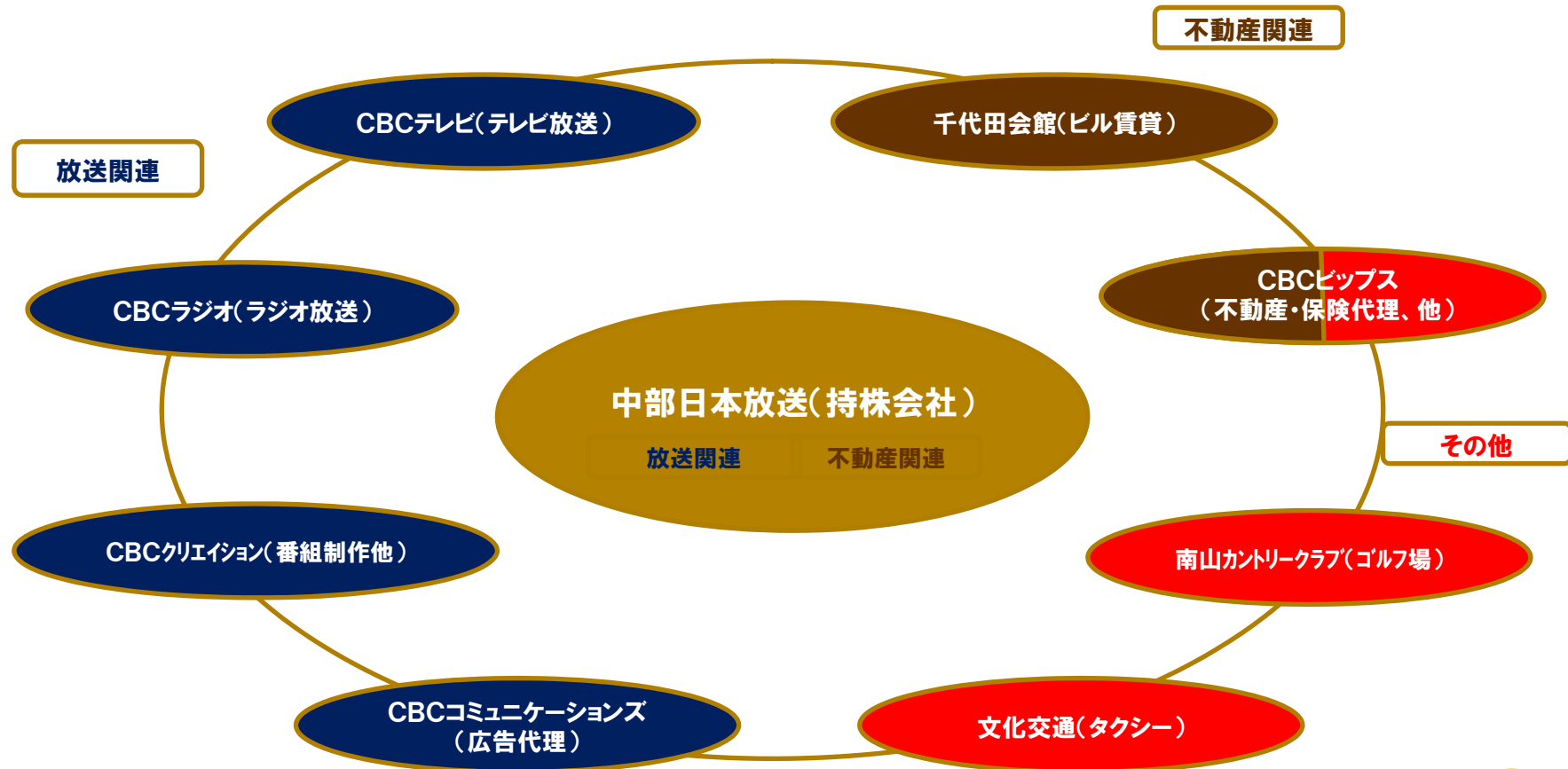
平成31年3月期(第93期) 第2四半期

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

決算説明資料

中部日本放送株式会社

CBCグループ 連結会社一覧



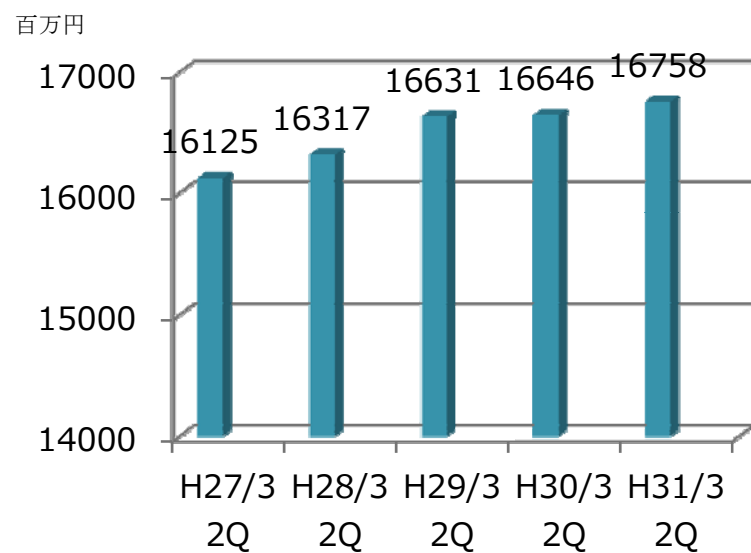
第2四半期 連結業績

(百万円)

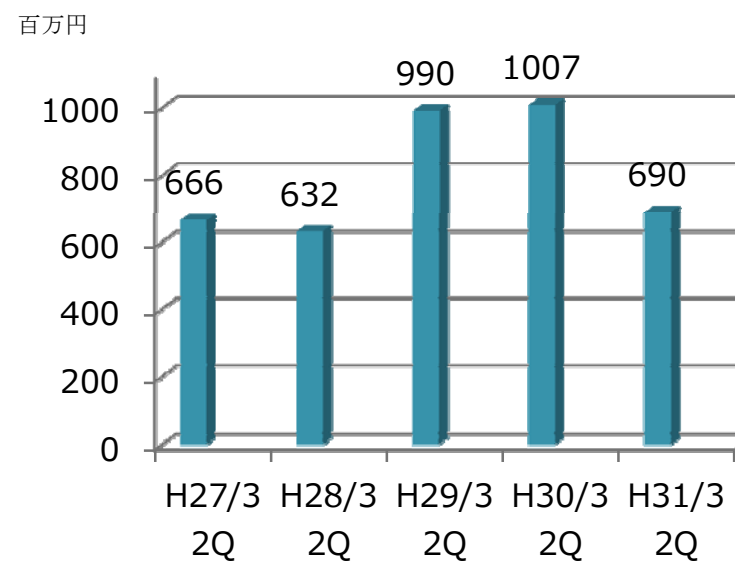
項目	H31/3期 第2四半期	H30/3期 第2四半期	増減額	増減率	備考
売上高	16,758	16,646	111	0.7%	5期連続増収
営業利益	690	1,007	△316	-31.4%	3期ぶり減益
経常利益	906	1,218	△311	-25.6%	5期ぶり減益
親会社株主に 帰属する四半期 純利益	579	765	△185	-24.3%	2期連続減益

第2四半期 連結業績 推移

売上高



営業利益



セグメント別 売上高及び営業利益

(百万円)

セグメント	構成社	売上高 (外部)	前期比 増減額	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減額	前期比 増減率
放送関連	中部日本放送 CBCテレビ CBCラジオ CBCクリエイション CBCコミュニケーションズ	15,042	44	0.3%	72	△334	-82.3%
不動産関連	中部日本放送 (不動産) 千代田会館 CBCビップス (不動産)	879	8	1.0%	533	△2	-0.5%
その他	南山CC CBCビップス 文化交通	836	58	7.6%	85	△3	-4.0%
セグメント間消去					0	23	---
合計(連結)		16,758	111	0.7%	690	△316	-31.4%

(株)CBCテレビ 売上高の概要

(百万円)

区分		売上高	前期比 増減額	前期比 増減率
テレビ		11,612	△146	-1.2%
	タイム	3,675	191	5.5%
	スポット	7,581	△387	-4.9%
	その他	354	49	16.1%
クロスメディア		479	10	2.2%
イベント		626	105	20.2%
ハウジング		427	10	2.5%
小計		13,145	△20	-0.2%
グループ請負		103	△37	-26.3%
合計		13,249	△57	-0.4%

(株)CBCラジオ 売上高の概要

(百万円)

区分		売上高	前期比 増減額	前期比 増減率
ラジオ放送事業		1,207	0	0.1%
	タイム	719	29	4.3%
	スポット	475	△20	-4.2%
	その他	11	△8	-41.6%
受託事業		179	1	1.0%
合計		1,387	2	0.2%

連結貸借対照表 (要約)

(百万円)

科目		H30/9月末	前期末比 増減	科目		H30/9月末	前期末比 増減
流動資産	現金及び預金	11,371	1,072	流動負債	支払手形及び買掛金	216	28
	受取手形及び売掛金	6,956	△659		未払費用等	2,838	△144
	有価証券	100	△100		その他流動負債	1,825	△343
	たな卸資産	100	33	固定負債	退職給付に係る負債	2,993	△225
	その他	2,537	△1,101		繰延税金負債	2,521	98
	貸倒引当金	△0	0		長期預り保証金	4,671	△230
			その他固定負債		262	△32	
				負債合計	15,329	△849	
固定資産	有形固定資産	26,851	△363	純資産	株主資本	51,151	104
	無形固定資産	423	△59		その他の包括利益累計額	3,960	348
	投資その他の資産	22,908	785		非支配株主持分	808	4
				純資産合計	55,919	457	
資産合計		71,249	△392	負債純資産合計		71,249	△392

連結業績予想及び配当予想



(百万円)

通期	<今回予想> H31/3期(通期)	<前回予想>※ H31/3期(通期)	前环比 増減額	前环比 増減率	<前期> H30/3期(通期)
売上高	34,380	34,810	△430	-1.2%	33,937
営業利益	2,550	2,810	△260	-9.3%	2,779
経常利益	2,950	3,190	△240	-7.5%	3,187
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,840	1,990	△150	-7.5%	1,971
配当金	23.0円 第2四半期末(5.0) 期末(18.0)	23.0円 第2四半期末(5.0) 期末(18.0)	---	---	23.0円 第2四半期末(5.0) 期末(18.0)

※ 前回予想は平成30年5月10日発表の決算短信に記載

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。